

PUBLIC POLICY AND THE GLOBAL LANDSCAPE

Networking Event Report

2025年5月23日

キャノングローバル戦略研究所・東京大学公共政策大学院非常勤講師 渡辺 凜
キャノングローバル戦略研究所・東京大学公共政策大学院特任教授 芳川 恒志

概要

日時 2025年5月16日（金）17:30-20:00
場所 CIGS会議室

東京大学公共政策大学院の夏学期開講科目“Public Policy and the Global Landscape”は、グローバルな視点で公共政策的な課題を考え、解決に向けて取り組むことのできる人の育成を目指し、「脱炭素」「ジェンダー」「教育」そして「リーダーシップ」というテーマで、受講生が自ら調べ、要点を伝え、そして実際に各国の代表等の立場になって議論をする、といった演習を重ねてきた。近い将来、国際機関をはじめとする国際社会の政策形成に関わる場で活躍する受講生らと、在野の有識者らとの意見交換と人的ネットワークの拡大のため、キャノングローバル戦略研究所において本イベントを催した。15カ国から23人を迎え、本科目の講師も務めるOECD事務局の最高責任者、大使館関係者、またトランジションファイナンスを専門とする金融機関の職員など、多様な関係者と受講生らの人脈形成に貢献した。

外部参加者

- Public Policy and the Global Landscape 受講生
- OECD (former Chief of Staff)
- デンマーク大使館
- オーストラリア大使館
- 東京大学
- 国内金融機関

TOPICS

- 国際機関へのキャリアパス
- 女性としてのOECD Chief of staffの経験、DEI推進による職場での変化など
- グローバル課題に取り組むために求められる教育のあり方
- 世界における東京大学の強みや弱み
- 脱炭素とエネルギー安全保障の両立に向け国際社会で求められる取り組み
- 国際社会の舞台における政治と実務や事務局との関係性



講義では、ただ情報をまとめるのではなく、相手や場に応じて論を組み立て、取捨選択する練習を行っている

今後、国際機関の事務総長選挙を模した演習も計画されている

